

情報にアンテナをはれ！ ランクUP店舗へ！

売上情報局

AIを活用して効率化を⑤

■AIは一人よりチームで使う時代！

最近では、一つのAIだけでなく、目的によって複数のAIを使い分ける方法が増えています。得意分野が異なるため、「相談」「調査」「資料作成」などで使い分けると効率が大きく向上します。

目的に合わせて
使い分けるのが
コツです！



1 文章・企画なら



AIへの指示例

「夏のセールPOPを考えて」
「お客様向けに柔らかく」

- 【こんな時】
- POP作成
 - お客様への説明
 - 企画相談
 - 文章作成

ポイント

困ったら最初に
相談しやすい万能型



2 調査・比較なら



AIへの指示例

「〇〇について比較して」
「ネットの情報を整理して」

- 【こんな時】
- 商品比較
 - 情報整理
 - 検索
 - 画像検索

ポイント

情報収集や比較検討が
得意。



3 資料整理なら



AIへの指示例

「内容を整理して」
「客観的に見て」

- 【こんな時】
- 議事録
 - 長文整理
 - 改善案
 - 文章の見直し

ポイント

長い文章をまとめる
作業が得意。



4 Office作業なら



AIへの指示例

「表を整理して」
「資料を作って」

- 【こんな時】
- Excel
 - Word
 - PowerPoint
 - 資料作成

ポイント

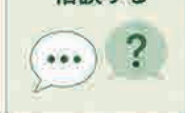
Officeソフトとの
相性が良い。



★今回のポイント

AIは一人の先生ではありません。
目的によって使い分けると、
より良い結果になります。

相談する



比較する



整理する



最終確認する



相談→比較→整理→最終確認の流れで使うのがオススメ！

■覚えておきたいポイント

- ✓ AIによって得意分野は違う
- ✓ 一つの答えを鵜呑みにしない
- ✓ 複数の視点を参考にする
- ✓ 最終判断は人間

■本部スタッフからひとこと

AIは便利なサポート役です。
使い方を工夫すれば、日々の業務がぐっとラクになります。
それぞれのAIの得意分野を理解して、
上手に使い分けていきましょう！



■本部スタッフからのお願い

AIを使うときは、個人情報や機密情報を入力しないようにしましょう。
また、生成された内容は必ず人の目で確認してください。

■編集部調べ

AI業界の話は、本人よりライバル会社に聞くと、
異様に解像度が高い場合があります。



AIをうまく使えば、限られた時間で、より価値のある仕事ができます！ 今日からできることから始めてみましょう！



マグネットシート印刷

産業廃棄物収集運搬車
株式会社 広場商事
第123456号

マグネットシート印刷の受注状況は、いかがでしょう？

お客様側がオリジナルのマグネットシートを作りたいと思った時 ... ネット販売業者を除けば、
どこで頼めるのだろうか？ 相談出来る店はあるのか？に該当する一つの商品です。
街中にマグネットシート専門店や大々的にアピールしている場所もほぼ無いでしょう。
需要が無いわけではなく、車両用で使用されるケースや販促用で使用されるケース
マグネットシートは昔から現代まで身近な所で数多く活躍しています。
特に車両用は、社用車等で数多く使われ、屋外での使用が基本の為、
劣化によるリピート受注や車の買換えや新規購入時のリピートや追加
注文になりやすいのでおすすめです。

(企業情報表記や産業廃棄物収集車表示等でよく使用されています)

そこで、車両用マグネットシートの取扱いについての注意点を学び、
お客様への注意喚起が行えるようにしておきましょう。



前提にマグネットシートを作成する際は、

「吸着面の素材（車や鉄板など）」と「環境条件（熱・雨・洗車）」への配慮が不可欠です。

1. 貼り付け前・確認の注意点

- ・金属面にしか貼れない：ガラス、プラスチック、アルミ（一部）、カーボンなどの非金属には吸着しません。車のボディも車種や部位によってはアルミ製や樹脂製の場合があるため、事前に磁石がつくか必ず確認しましょう。
- ・吸着面とシートの清掃：砂埃や水分、油分が残っていると、走行中の風圧で剥がれる原因になります。貼り付け前は、接着面とマグネットシート裏面の両方の汚れや水分を綺麗に拭き取ってください。

2. 屋外・車用マグネットの注意点

- ・車用には「厚手」を選ぶ：車両用には、走行中の風圧に耐えられるよう、0.8mm 以上の強磁タイプ（厚手）が推奨されます。
- ・曲面や凹凸を避ける：ボンネットのプレスラインなど、少しでも隙間や浮きが生じる場所に貼ると、風を巻き込んで剥がれやすくなります。
- ・洗車時は必ず外す：洗車機を通す前や、高圧洗浄機を使用する前は必ず取り外してください。

3. 保管と劣化対策の注意点

- ・高温環境での放置に注意：夏場の炎天下など、60℃以上の高温環境ではシートが軟化し、車体にマグネットのゴムが溶けて貼り付いてしまう事故が多発します。車を長時間離れる際は、シートを外して屋内に保管するのが鉄則です。
- ・定期的に貼り直す：長期間同じ場所に貼りっぱなしにすると、湿気や熱の影響で車体に色移りしたり、サビや固着の原因になります。車で日常的に使用する場合は、数日に一度は剥がして、車体とシートを乾拭きし、貼り直すことを推奨します。
- ・丸めて保管しない：折り曲げたり、きつく丸めると磁力が低下したり印刷面にヒビが入る原因になります。保管時は、平らな状態にするか、購入時の丸筒にふんわりと入れて保管しましょう。



※使い方を誤ると事故発生や不良品扱いされる
ケースもゼロではありません。注意事項の告知は基本的に商品提供に付随する義務です。
お客様に注意点を伝えることで、店の信頼を
損なう可能性のリスク回避に繋がります。